

あけましておめでとうございます

新年をむかえ、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。
地域ブランド創出事業は、市場産業の振興を促進する有益な取り組みです。いちはらの地域資源を発掘、活用した付加価値の高い商品やサービスを開発し、全国に向けて発信する「いちはら国府ブランド」の確立に取り組み商工会議所を応援します。そして地域経済を活性化し幸せを実感できる元気なまち「市原」の創造を目指して共に取り組んでまいります。



市原市長
佐久間 隆義

元気なまち「市原」をめざして
共にがんばりましょう



市原商工会議所
榊原 義久 会頭

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

市原の魅力向上を目指して いちはら国府ブランドを全国に

さて日本経済はアベノミクス等の効果により、緩やかな回復傾向にありましたが、昨年4月の消費税率アップ、その後の円安による物価上昇等の影響により、地域経済は依然として疲弊しており大変厳しい状況が続いております。

このような状況の中、市原商工会議所と致しまして、昨年4月の消費税率アップ時には、地域経済の冷え込みを最小限に抑え地域経済活性化の起爆剤とするため、「いちはら国府プレミアム商品券」を発行する

た国府が置かれ、文化的、政治的にも優れた地域であったと推察されています。この歴史的背景を軸に、「雅な」市原ブランドを作り上げてまいります。昨年度は既存の商品のブランド化を高めるため「いちはら国府プレミアム商品」の認定を開始し、現在第2回認定品の募集をしております。また今年度は企業のブランド化を進める「市原で大切にしたい会社」の認定制度を発足、現在認定企業を選定しているところでもあります。加えて、市原市の新たな名物とすべく、「いちじく」を活用した新商品の開発を農商工連

携（六次産業化）により進めているところであり、これら三つのプロジェクトを一体的に推進していき、「いちはら国府ブランド」を全国に情報発信することで、地域力を高め持続的な地域経済の底上げを図ってまいります。

未だに厳しい経済環境ではございますが、「いちじく」LOVEまちの元気づくり運動、みんなで目指そう！景気回復一番のりのまち」をキャッチフレーズに、皆様と共に乗り越え、頼りにされる市原商工会議所を目指してまいりますので、本年も皆様の一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



県知事より 応援のコメント

地域の力強い発展には、地域経済の要である商工会議所と会員事業所の皆様の力が欠かせません。

圏央道の整備進展や東京オリンピック・パラリンピックの開催などを追い風に、地域の魅力に磨きをかけ、地域をさらに活性化していただくことを期待しています。

次世代を担う子どもたちに、光り輝く市原市、そして千葉県を引き継げるよう、共にがんばってまいります。

市原の名産品を 全国へ発信!!



中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックスにて販売したいちはら名産品リ×ミックスプロジェクトの商品達が、いよいよ全国発信されます。

千葉県代表として渋谷ヒカリエにて展覧会形式で販売もしております。期間は昨年12月13日(土)からスタートし、2月15日(日)まで出展しております。



会期…開催中～2月15日(日)
11時～20時
会場…d47 MUSEUM
(東京都渋谷区渋谷)
2丁目21-1
渋谷ヒカリエ8階
入場…無料

いちじくの里プロジェクト始動!!

古 代より市原に自生し、現代に至るまで各時代でも重用されている「いちじく」を題材に市原をアピールする取り組みです。「全国で一番のいちじくの街」を目指すため、ホッとできる食べ物(お土産、飲食メニュー)として提供する取扱店を市内各地で増やしていきます。乞うご期待!

■なぜ 市原=いちじく?

実は市原市といちじくは関係が深かった！(古代から現代に至るまで)

- ・市原市には古代よりいちじく(イヌビワ)が自生していた!
- ・市原市にはいちじく型の古墳(神門5号墳)があり、マニアに知られている
- ・万葉集には大伴家持がイヌビワをテーマに歌を詠った。大伴家持編纂の万葉集・防人の歌には市原の歌が多く採用されている
- ・現代でもいちじくの生産、品質において高い水準にあるいちじく農家は34件、出荷量約52トン。(県内第1位)
- ・姉崎のいちじくは献上品としても知られている

■いちじくの何が凄い?

かつてより薬用に使われるほど、消化促進・健胃整腸・抗酸化物質の除去など、現代人にも通じる健康要素が多い



